授業科目　ヒューマンケアリング

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	看護
本間　千代子	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	○

【概要・一般目標：GIO】

人をケアすることの意味を問い、ケアの核となるケアリングの概念を探求し、理解する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．ケアリングとは何かをのべられる。
2．ケアリングの主要な要素をあげることができる。
3．ケアリングの理論家の名前を５人以上げることが出来る。
4．看護実践におけるケアリングの表現がわかる。
5．ケアリングを看護ケアに実践するための方法が言える。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ケアリングの概念	1	講義と当日レポート
2	ケアリングの理論	1.2	講義と当日レポート
3	ケアの本質	1.2	講義と当日レポート
4	ケアリングの表現と看護実践	3.4	講義と当日レポート
5	人間科学とヒューマンケア	1.4	講義と当日レポート
6	ヒューマンケアリングについてわかったこと、疑問に思ったこと	1～4	G．W
7	成果発表	1～4	G　発表
8	まとめ		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	資料にておこなう			
参考書	ケアの本質	ミルトン・メイヤロフ	ゆるみ出版	1993・1,545円
	ケアリングの理論と実践	キャロル・レッパネン	医学書院	1995・2,300円
その他の資料	ケアリング	ネル・ノディングズ	晃洋書房	2004
	ワトソン21世紀の看護論	ジーン・ワトソン	日本看護協会出版会	2005

【評価方法】

出席10%
課題30%
レポート60%

【履修上の留意点】

当日まとめレポートBRD方式にておこなう
文献を読み自ら探求すること